

この度OZASAHAYASHIは、西陣織会館 西館へ移転する「ozasa_kyoto」のオープン企画といたしまして二人展「O JUN 松井智恵」を開催いたします。本展が京都で初の展覧会となるO JUNは新旧のリトグラフを、松井智恵は新作の油絵を出展いたします。本展は、真武真喜子による企画展「縁側の立話 O JUN + 松井智恵」(四条大宮の「ozasahayashi_project」で開催)に更なる縁側(拡がり)を求めて企画されました。

「ozasahayashi_project」ではキャンバスを中心にした新作オリジナルを、「ozasa_kyoto」ではプリントとオリジナルを新旧織り交ぜ展示いたします。真夏の京都の縁側でO JUNと松井智恵の二人が、全く異なる二会場で交わすスリリングな絵画の世界をお楽しみ下さい。

| | |
|------|--|
| タイトル | 「O JUN 松井智恵」展 |
| 会 期 | 2016年7月2日(土) - 8月14日(日) |
| 会 場 | ozasa_kyoto 京都市上京区堀川通今出川南 西陣織会館 西館 207 (西陣産業会館) TEL : 075-417-4041 mail : info@ozasahayashi.com |
| 開廊時間 | 12:00 - 19:00 (月・祝休) |
| イベント | オープニングレセプション 2016年7月2日(土) 18:00 - 20:00 (ozasahayashi_project) 下記関連企画「縁側の立話 O JUN + 松井智恵」展との合同レセプションとなります。 会場が本展会場とは異なりますのでご注意ください。 |
| 出展内容 | O JUN 氏 版画 (協力: Itazu Litho-Grafik, MIZUMA ART GALLERY) 松井智恵 氏 油彩 (協力: MEM) |
| 協 力 | Itazu Litho-Grafik, MEM, MIZUMA ART GALLERY |

| | |
|------|--|
| 関連企画 | 「縁側の立話 O JUN + 松井智恵」展 ozasahayashi_project は室内外の仕切りがない風変わりな空間 そこでO JUNと松井智恵が交わす絵の縁側についての立話 身体の内と外、その境界にある絵、縁側ぎりぎりの絵をめぐる対話が展覧会のかたちになる……。 |
| 会 期 | 2016年7月2日(土) - 8月28日(日) |
| 会 場 | ozasahayashi_project 京都市中京区壬生馬場町 37-3 KYOTO ART HOSTEL kumagusuku 1F |
| 開廊時間 | 金 / 土 / 日 16:00 - 21:00 |
| イベント | オープニングレセプション 2016年7月2日(土) 18:00 - 20:00 |
| 企 画 | 真武真喜子@operation table/QMAC |
| 協 力 | MEM, MIZUMA ART GALLERY, KYOTO ART HOSTEL kumagusuku |

お問い合わせ 株式会社 ART OFFICE OZASA 担当: 小島、山口
tel : 075-417-4041 / mail : info@ozasahayashi.com / web : www.ozasahayashi.com

O JUN

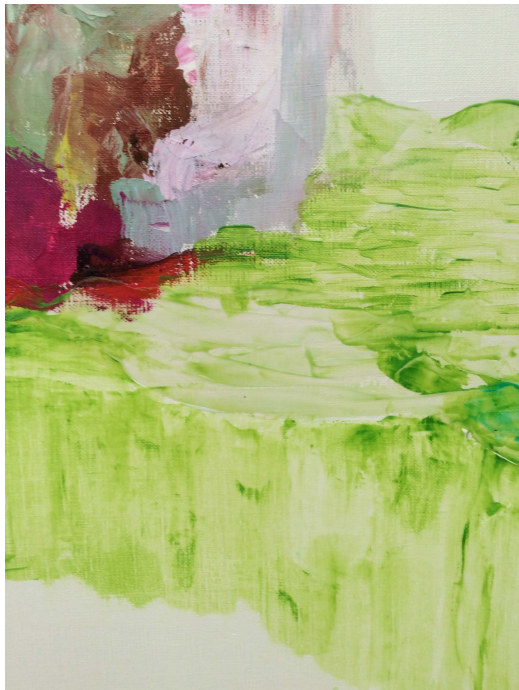


川ニ入ル
2013 / リトグラフ / 620 x 470 mm
© O JUN and Itazu Litho-Grafik



飛び立つ鳩に驚く私
2014 / リトグラフ / 370x280
© O JUN and Itazu Litho-Grafik

松井智恵



© 松井智恵 courtesy MEM



© 松井智恵 courtesy MEM

画像の掲載利用につきましては、末尾の連絡先までご連絡ください。

お問い合わせ

株式会社 ART OFFICE OZASA

担当：小島、山口

tel : 075-417-4041 / mail : info@ozasahayashi.com / web : www.ozasahayashi.com

O JUN

- 1956 東京都生まれ
- 1982 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士修了
- 1984-1985 バルセロナ（スペイン）に滞在
- 1990-1994 デュッセルドルフ（ドイツ）に滞在
- 2007 文化庁芸術家在外研修員（ブエノスアイレス・アルゼンチン）
- 現在、東京を拠点に活動。東京藝術大学美術学部教授

おもな個展（2000年以降）

- 2016 「飛び立つ鳩に、驚く私」ミヅマアートギャラリー（東京）
「O JUN 展 まんまんちゃん、あん」国際芸術センター青森（青森）
「O JUN 展 —順光品々—」VOID+（東京）
- 2015 「紙相撲」キドプレス（東京）
- 2014 「Dada 児」A/D ギャラリー（東京）
- 2013 「O JUN 描く児」府中市美術館（東京）
「夢見る、さんの丞」ミヅマアートギャラリー（東京）
- 2011 「O JUN 展」ガレリアフィナルテ（愛知）
- 2010 「O JUN の山」ミヅマアートギャラリー（東京）
- 2009 「JEDNOM OLOVKOM 一本の鉛筆から」O3ONE（ベオグラード、セルビア）
- 2008 公開制作「眼の、前に」府中市美術館（東京）
「I AM O JUN」J.CHEN ギャラリー（台北、台湾）
- 2007 「遊園」ミヅマアートギャラリー（東京）
- 2005 「O JUN—未熟の人」void+（東京）
- 2002 「ぺかぺか童子 動産と不動産」ミヅマアートギャラリー、東京
「近作展 27 O JUN」国立国際美術館、大阪
- 2001 「O JUN 展 他者は他者をよぶ、、、」ギャラリー aM、東京
- 2000 「O JUN 展」カスヤの森現代美術館、神奈川

近年のおもなグループ展

- 2016 「O JUN Chikanobu Ishida 14 days 119years later」Danielle Arnaud Gallery（ロンドン、イギリス）
「版画工房の仕事 —板津石版画工房—」カスヤの森現代美術館（神奈川）
「DOMANI・明日展・PLUS」アーツ千代田 3331（東京）

- 2015 「画家の詩、詩人の絵——絵は詩のごとく、詩は絵のごとく」平塚市美術館（神奈川、ほか4会場を巡回）
- 2014 「そこに在ること——歴史・美術にみる存在の印」岡崎市美術博物館（愛知）
「美少女の美術史展」青森県立美術館（青森、ほか2会場へ巡回）
- 2013 「MOT コレクション 残像から—afterimages of tomorrow」東京都現代美術館（東京）
「第10回東京 MAC 西島直紀・O JUN」下山芸術の森発電所美術館（富山）
- 2012 「Art and Air～空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」青森県立美術館（青森）
- 2011 「開館20周年記念展 画家たちの二十歳の原点」平塚市美術館（神奈川、ほか3会場を巡回）
- 2010 「絵画の庭 ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館（大阪）
「アーティストファイル 2010」国立新美術館（東京）
「トラ・トラ・トラ」ギャラリークレメンス・ティーメ（カールスルーエ、ドイツ）
「The 14th Vilnius Painting Triennial」現代芸術センター（ヴィリニウス、リトアニア、ほか2会場を巡回）
- 2009 「異界の風景 - 東京藝大油画科の現在と美術資料」東京藝術大学美術館（東京）
「痙攣子」（O JUN・森淳一）ミヅマ・アクション（東京）

パブリックコレクション

岡崎市美術博物館（愛知）

カスヤの森現代美術館（神奈川）

国立国際美術館（大阪）

高松市美術館（香川）

東京都現代美術館（東京）

府中市美術館（東京）

Itazu Litho-Grafik イタツ・リトグラフィック

作家とのコラボレーションを主とするオリジナル・リトグラフ工房。

創立者の板津悟氏は、当時アメリカ随一のプリンター養成工房と謳われた、アメリカの工房タマリンド・インスティテュートに学び、その後帰国、87年に「Itazu Litho-Grafik」を設立した。

ペインティング、立体、コンセプチュアル・アートなど様々なジャンルの作家との共同作業を通じて、リトグラフが持つ表現の可能性を提案し続けている。



松井智恵

- 1960 大阪府生まれ
1984 京都市立芸術大学大学院修了

個展

- 2014~15 「a story-とんがり山」 ギャラリーノマル (大阪)
- 2014 「一枚さん」・「松井智恵映像作品上映会」 MEM (東京)
- 2014 平成 26 年春の有隣荘特別公開「ブルシャ」(倉敷、岡山)
- 2013 「ハイジ 53 “none”」 VOID+ (東京)
- 2012 「ハイジ 52 “flower”, “B/W” 現代美術と批評のスクール」 MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)
- 2011 「ハイジ 50 “On The Day”」 MEM (東京)
- 2010 「ハイジ 50 “On The Day”」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2009 「ハイジ 49 “MIST”」 MEM (大阪)
「ハイジ 49 “RIVER”」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2008 「ハイジ 48 “vision”」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2007 「ハイジ 47」 MEM/ Gallery (大阪)
-映像作品 2000-2007 上映会・remo (大阪)
「寓意の入れもの—An Allegorical Vessel」 UPLINK Gallery (東京)
- 2006 「ハイジ 46」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2005 「ハイジ 45」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2004 「ハイジ 44」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2003 「greenfinger-2003」 信濃橋画廊エプロン (大阪)
「ヒマラヤ・カイドン、ヒマラヤ・レインボウ」 MEM (大阪)
- 2002 「寓意の入れもの」 信濃橋画廊 (大阪)
- 2000 「彼女は溶ける」 信濃橋画廊 (大阪)
「greenfinger」 MEM (大阪)
「彼女はうそをつく」 神戸アートヴィレッジセンター (兵庫)
- 1999 「Galerie Gardy Wiechern」 (ハンブルク、ドイツ)
- 1993, 95, 97 ギャラリーKURANUKI (大阪)
- 1992 アートサイト (福井)
ギャラリー21+葉 (東京)
- 1991 ギャラリービュウ (大阪)

- 1990 信濃橋画廊 (大阪)
- 1989 ギャラリー21+葉 (東京)
- 1987, 88 信濃橋画廊 (大阪)
- 1986 信濃橋画廊5 (大阪)
- ギャラリーアルシュ (東京)
- ギャラリー葉 (東京)
- シティギャラリー (神戸)
- ギャラリー白 (大阪)
- 1985 シティギャラリー (神戸)
- 梁画廊 (京都)
- 1984 シティギャラリー (神戸)
- 1982, 83 ギャラリー白 (大阪)

主なグループ展

- 2015 「死の劇場〜カントルへのオマージュ」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (京都)
- 2014 京都国際映画祭ー京都文化博物館 (京都)
- 横浜トリエンナーレ 2014ー「華氏 451 の芸術：世界の中心には忘却の海がある」横浜美術館 (神奈川)
- 2013 龍野アートプロジェクト 2013ー「刻の記憶」(龍野市、兵庫県)
- 「ROADSHOW-三田村光土里、白井美穂との三人の連続個展」VOID+ (東京)
- 2012 PEKE 展ー「藤本由紀夫 X 松井智恵」ギャラリーノマル (大阪)
- 2011 新・incubationー「On a Knife Edge-二つの向こう岸」京都芸術センター (京都)
- アートフェア東京 2011ー関連企画・スペシャル・ビデオプログラム「Body Talks? 未知なるカラダ」
SYMPOSIA 六本木 AXIS ビル B1 (東京)
- 「画像進化論」栃木県立美術館 (栃木)
- 2009 「トレース・エレメンツー日豪の写真メディアにおける精神と記憶」パフォーマンス スペース
(シドニー、オーストラリア)
- 2008 「ゆっくり生きる。What Is the Real Nature of Being?」芦屋市立美術博物館 (兵庫)
- 「トレース・エレメンツー日豪の写真メディアにおける精神と記憶」東京オペラシティアートギャラリー
(東京)
- 2007 「賛美小舎」コレクション「それでも人は、『境界』を越える。」練馬区立美術館 (東京)
- 2006 「piano, piano 展」大阪アーツアポリア築港赤レンガ倉庫 (大阪)
- 2005 横浜トリエンナーレ 2005ー「アートサーカス：日常からの跳躍」(神奈川)
- 2003 「六本木クロッシング」森美術館 (東京) Mission Invisible として参加

- 2002 日韓現代美術展－「いま、話そう。」国立現代美術館（ソウル）国立国際美術館（大阪）
「未来予想図－私の人生☆劇場－」兵庫県立美術館（兵庫）
- 2000 「美術の中のかたち 手で見える造形展」兵庫県立近代美術館（兵庫）
「LIFE, Art Packing 2000 in OUTENIN」應典院（大阪）
- 1999 「コラボレーションアート展」福島県立美術館（福島） Mission Invisible として参加
- 1998 「MICRO&MACRO COSMONAVIGATORS」ギャラリーKURANUKI（大阪） Mission Invisible として参加
- 1997 「projects 57, bul lee·chie matsui」The Museum of Modern Art（ニューヨーク）
- 1996 「Nowhere」Louisiana Museum of Modern Art（デンマーク）Mission Invisible として参加
- 1995 「日本の現代美術 1985-1995」東京都現代美術館（東京）
「『小鳥は大空を想像する』芸術祭典・京 造形部門」元龍池小学校（京都）
「Longing and Belonging / From the Faraway Nearby」SITE Santa Fe（ニューメキシコ、アメリカ）
- 1994 「WORK SHOP 展覧会をつくること」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
- 1993 「OUT OF PLACE」Vancouver Art Gallery（カナダ）
- 1992 「Canon ARTLAB2」ニューピアホール（東京） Mission Invisible として参加
- 1991 「SEVEN ARTISTS-Aspects of Contemporary Japanese Art」Sanata Monica Museum of Art（カリフォルニア）
Portland Art Museum（オレゴン）
Museo Rufino Tamayo（メキシコ）
Contemporary Arts Center（ニューオーリンズ、1992）、名古屋市美術館（名古屋、1992）
「ザ・サイレント・パッション 日本の女性アーティストたち」栃木県立美術館（栃木）
- 1990 ヴェネチア ビエンナーレ「アペルト 90」（ヴェネチア、イタリア）
「アート・ナウー関西の 80 年代」兵庫県立近代美術館（兵庫）
- 1989 「近作展 7 今村 源 松井智恵」国立国際美術館（大阪）
- 1984 「アートナウ '84」兵庫県立近代美術館（兵庫）
「TAMA VIVANT '84」『戯れなる表面』多摩美術大学、八王子西武百貨店（東京）

パブリックコレクション

- 国立国際美術館（大阪）
栃木県立美術館（栃木）
兵庫県立美術館（兵庫）
東京都現代美術館（東京）
高知県立美術館（高知）
高松市美術館（香川）
横浜美術館（神奈川）